

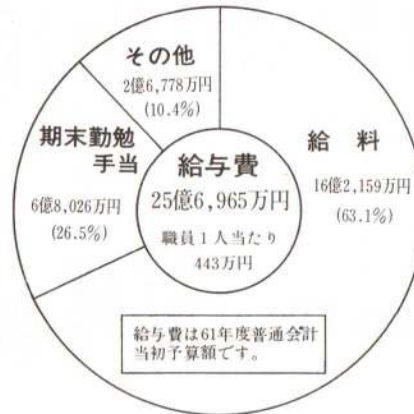
# 大館市の 職員給与等を公表します

61年4月1日現在の市の職員給与や特別職の報酬の実態をお知らせします。市職員の給与は、国家公務員に準じ「大館市職員の給与に関する条例」に基づいて支給しています。これを機会に職員の給与等を知っていただくとともに、より一層のご理解とご協力をお願いします。

## 人件費の状況 (普通会計)

区分	人口 (61.3.31)	歳出額A	実質収支	人件費B	人件費率 (B/A)
60年度	71,713人	155億1,678万円	2億6,170万円	32億835万円	20.7%

## 職員給与費の状況 (職員数579人)



## 特別職の報酬 (61年4月1日現在)

区分	給料月額等
給料	市長 670,000円 助役 520,000 収入役 475,000
報酬	議長 285,000 副議長 255,000 議員 245,000
期末手当	市長 <60年度支給割合> 助役 6月期 1.4月分 収入役 12月期 1.9月分 議長 3月期 0.5月分 副議長 計 3.8月分 議員

区分	大館市(行)	国(行)	大館市(技)	国(技)	学歴
初任給	95,500円	95,500円	96,200円	93,400円	<高校卒>
	113,200円	113,200円			<大学卒>
採用後2年経過	101,700円	101,700円	102,700円	99,400円	<高校卒>
	125,100円	125,100円			<大学卒>
経験年数10~15年未満	161,300円	174,800円	151,500円		<高校卒>
	197,200円	213,200円			<大学卒>
経験年数15~20年未満	205,600円	215,100円	169,700円		<高校卒>
	240,000円	266,200円			<大学卒>
経験年数20~25年未満	234,500円	252,300円	209,700円		<高校卒>
	262,500円	320,100円			<大学卒>

職員の初任給・平均給料等の状況 (61年4月1日現在)  
経験年数別・学歴別平均給料月額

### 平均給料月額

大館市	行政職 236,300円 (40.8歳) (平均給与月額 256,381円) 技能労務職 200,300円 (43.3歳) (平均給与月額 216,727円)
国	行政職 231,339円 (39.7歳)

### 退職手当の支給割合

支給割合は60年度実績です。なお当市は秋田県退職手当組合に加入し、支給割合はその条例に基づくものですが、年次計画で引き下げることになっており、64年度には国と同率になる予定です。

区分	自己都合による退職者		勲奨、定年による退職者	
	大館市	国	大館市	国
勤続20年	21.0ヵ月	21.0ヵ月	30.45ヵ月	28.875ヵ月
〃 25年	33.75	33.75	46.98	44.55
〃 35年	47.5	47.5	66.12	62.7
最高限度	60.0	60.0	66.12	62.7
その他の加算措置	国・市とも定年前早期退職等特例措置(2%~20%加算)			
退職時特別昇給	国・市とも1号給			

## 職員手当の状況

### 特殊勤務手当 (60年度決算額)

区分	全職種
職員全体に占める手当支給職員の割合	57.8%
支給対象職員1人当たり平均支給年額	37,938円
手当の種類(手当数)	22
主な手当	支給額が多い手当 税務手当、徴収手当、清掃手当 業務連絡手当、現金取扱手当
	支給対象職員が多い手当 業務連絡手当、現金取扱手当 徴収手当、税務手当、保育手当

### 期末、勤勉手当の支給割合

支給割合は60年度実績で国と同率です。

<6月期> 期末手当 1.4月分 勤勉手当 0.5月分 合計 1.9月分	総支給率 4.9月分	<12月期> 期末手当 1.9月分 勤勉手当 0.6月分 合計 2.5月分
<3月期> 期末手当 0.5月分		

### 時間外勤務手当 (一般・特別会計決算)

- ◇59年度 支給総額 73,480千円  
職員1人当たり支給年額 124千円
- ◇60年度 支給総額 80,184千円  
職員1人当たり支給年額 137千円

### その他の手当

区分	大館市 (61年4月1日現在)	国
扶養手当	○配偶者14,000円。扶養親族は2人目まで(1人につき)4,500円、3人目以降(1人につき)1,000円 ○配偶者のいない場合の1人目9,500円	同じ
住居手当	○借家 16,500円までは9,000円を控除した額の全額16,500円を超える場合は、その超えた額の2分の1(限度額7,500円)を7,500円に加算した額 ○持家 新築5年までは2,500円、その他は1,000円	同じ
通勤手当	○交通機関利用者 20,000円までは全額。20,000円を超える場合は、その超えた額の2分の1(限度額4,000円)を20,000円に加算した額 ○交通用具利用者 2km以上~5km未満2,200円、5~8km3,200円、8~11km4,500円、11km以上5,300円	交通用具利用者 2km以上~5km未満 2,000円 5km以上~10km未満 2,600円 10km以上 3,600円

【注】(行)…行政職とは、一般事務職員、一般技術職員、保母などをいいます  
(技)…技能労務職とは、自動車運転手、用務員、給食員などをいいます